

平成 24 年度 スカラネット入力下書き用紙 (大学院・法科大学院)



独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO Japan Student Services Organization

スカラネット用ホームページアドレス (URL)
<http://www.sas.jasso.go.jp/>

インターネットによる奨学金申込み (スカラネット) にあたっては、「奨学金を希望する皆さんへ」(以下「奨学金案内」) を熟読し、申込内容を決めてください。
「奨学金案内」及び以下の注意事項を参照してこの下書き用紙に記入し、間違いがないことを点検した上で日本学生支援機構のスカラネット用ホームページにアクセスして入力してください。電話番号は保有していない場合を除き、すべての欄に入力してください。入力が完了すると、「奨学金申込情報一覧」(この画面を印刷するなどして保存しておくことをお勧めします。)が表示されますので、内容を再確認し、送信ボタンを押してください。なお、送信ボタンを押した後に内容を訂正することはできません。

ご記入いただいた情報は、奨学金貸与業務 (返還業務を含む) のために利用され、その他の目的には利用されません。

氏 名	学籍番号	研究科の専攻のコード

学校からの指示がある場合のみ記入してください。

受 付 番 号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

入力が完了し送信後、受付番号が画面に表示されます。必ず記入しておいてください。

あなたの識別番号

あなたの識別番号 (ユーザIDとパスワード) を入力して、送信ボタンを押してください。

ユーザID

パスワード

パスワードはスカラネット入力時は非表示となります。入力がエラーになる場合は…入力した文字を目で見て確認するため、最初にユーザID欄に入力し、それをコピーして貼り付けてみてください。

確認書の提出

あなた (あなたが未成年 (20歳未満) の場合は、あなたと親権者または後見人) は、「確認書」に記載されている次の内容を確認・承認したうえで、署名・押印した「確認書」を提出しましたか。

- ◇貸与申込条件等
- ◇個人情報情報の取扱いに関する同意条項
- ※「個人情報情報の取扱いに関する同意条項」には、延滞するとあなたの個人情報個人信用情報機関に登録される等、重要な内容が記載されています。
- 提出しました。
- 提出していません。

右のボタンを押して規定等 (保証委託約款を含む) を確認し、了承する場合のみ、申込を行ってください。

※規定等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。

規定等を表示

「提出していません」を選択した場合はスカラネットの次の画面に進めません。学校に「確認書」を提出した後、再度、入力し直してください

規定等の表示を行わないと、次画面へ進むことができません。

1/8

A-日本学生支援機構奨学金の案内

- ◆第一種奨学金
無利息の奨学金で、特に優れた学生及び生徒で経済的理由により著しく修学困難な者に貸与します。
- ◆第二種奨学金
利息付きの奨学金 (在学中は無利息) で、第一種奨学金よりゆるやかな基準によって選考された者に貸与します。

B-誓約欄

日本学生支援機構理事長 殿

私は貴機構奨学金の申込みにあたり、学校に「確認書」及び必要な証明書類を提出しました。
奨学生に採用決定後は速やかに「返還誓約書」を提出し、貸与が終了した後は滞りなく返還すること及び以下の申込み記載事項について正しく記入することを誓約します。することを誓約します。

誓約日 平成 年 月 日 氏名 (全角漢字)

姓 名

5文字以内 5文字以内

※誓約日は送信後訂正することができません。 氏名 (全角カナ)

15文字以内 15文字以内

誓約日はスカラネット入力日としてください。ここで入力した誓約日がD-あなたの返還誓約書情報における成年判定の基準日になります。

学生本人の本名 (通称名は認められません) を、全角漢字及び全角カナで入力してください。振込口座の名義は、ここで入力した氏名と同一のものに限ります。「奨学金案内」19ページ「文字入力について」も参照してください。

氏名に外字、フは使用しないでください。
(例) 高→高、崎→崎、吉→吉
キコウ カオル→キコウ カオル
姓・名欄ともに、「スペース」は入力しないでください。(ミドルネームはつなげて入力してください)。
(例) 奨学 ジョン 太郎
→ 奨学
名前が長い場合は、入るところまで入力してください。

2/8

C-保証制度

1. あなたが希望する保証制度について教えてください。
- (1) 連帯保証人・保証人を選任します。
 - (2) 機関保証に加入します。

希望する保証制度を選択してください (「奨学金案内」8ページを参照)。

D-あなたの返還誓約書情報

1. あなた自身について入力してください。

- (1) あなたのお名前は △△ ○○さんですね。
- (2) あなたの性別を選択してください。 (2) ○ 男 ○ 女
- (3) あなたの生年月日を記入後、「成年判定」ボタンを押してください。
 (3) (和暦) 年月日生
- (4) あなたの住民票に記載されている住所を記入してください。
 (4) (郵便番号) -
 住所1 (自動入力)
 住所2 (番地以降)
- (5) あなたの電話番号を記入してください。 (5) --
 携帯電話の電話番号を記入してください。 (携帯) --
- (6) メールアドレスをお持ちの方はアドレスを半角60文字以内で記入してください。

2. 連帯保証人・保証人について

- (1) 連帯保証人について入力してください。
- ・原則として、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等にしてください。
 - ・未成年者等保証能力がない人は認められません。
- (a) その氏名 姓 名
 (a) 漢字 (全角漢字)
 カナ (全角カナ)
- (b) その生年月日 (b) (和暦) 年月日生
- (c) あなたとの続柄 (c)
- (d) その住所 (d) (郵便番号) -
 住所1 (自動入力)
 住所2 (番地以降)
- (e) その電話番号 (e) --
 その携帯電話の電話番号 (携帯) --
- (f) その勤務先 (f)
- (g) その勤務先電話番号 (g) --
- (2) 保証人について入力してください。
- ・原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。
 - ・未成年者等保証能力がない人は認められません。
- (a) その氏名 姓 名
 (a) 漢字 (全角漢字)
 カナ (全角カナ)
- (b) その生年月日 (b) (和暦) 年月日生
 ※やむを得ず65歳以上になる方を保証人に選任する場合は、その事情を記入してください。
 (全角100文字以内)
- (c) あなたとの続柄 (c)
- (d) その住所 (d) (郵便番号) -
 住所1 (自動入力)
 住所2 (番地以降)
- (e) その電話番号 (e) --
 その携帯電話の電話番号 (携帯) --
- (f) その勤務先 (f)
- (g) その勤務先電話番号 (g) --
- (h) 連帯保証人と保証人は別生計ですね。 (h) ○はい ○いいえ

※連帯保証人、保証人にふさわしい人物かどうか、入力情報を元に判定を行います。年齢による判定では、各人物の誓約日 (B-誓約欄で入力した年月日) 時点での年齢を元に判定を行います。

「申込者姓名 (B-誓約欄) に入力した人」

和暦		西暦	和暦		西暦
昭和	58	1983	昭和	63	1988
	59	1984		64	1989
	60	1985	平成	1	1989
	61	1986		2	1990
	62	1987		3	1991

参考

生年月日を入力し「成年判定」ボタンを押すと、年齢 (成年か未成年か) に応じて親権者 (未成年者後見人) 欄が表示されます。元号 (昭和/平成) の間違いに注意してください。「成年判定」ボタンを押した後に、生年月日の入力間違いに気付いたときは、正しく入力直してから再度「成年判定」ボタンを押してください。成年判定は、B-誓約欄で入力した誓約日が基準日となります。

(4) 住民票に記載されている住所を事前に確認してください。

住所の郵便番号を事前に確認してください。郵便番号入力し、必ず住所検索ボタンを押してください。入力した郵便番号に該当する住所が「住所1」に表示されます。プルダウンからお住まいの住所を選択してください。「住所1」に表示された住所以降を「住所2」に入力してください。
 ※③ページ住所の入力例を参照してください。

C-保証制度で (1) を選択した人に表示されます。

注意! 連帯保証人・保証人の入力をする前に、必ずその方の承諾を得る必要があります。

ここで入力した連帯保証人及び保証人は、採用されると返還誓約書に印字されます。返還誓約書の提出にあたっては、これらの方の署名・実印押印及び所定の書類が必要となります。返還誓約書や書類に不備があると奨学生の資格を失うことになります。

(1) 連帯保証人とは
 あなたと連帯して返還の責任を負います。あなたが未成年の場合、連帯保証人には必ず親権者 (または未成年者後見人) を選任してください。あなたが成年の場合も、原則として父母を選任してください。父母を選任できない特別な事情がある場合は、未成年者を除く兄弟姉妹・おじおば等を選任してください。

(2) 保証人とは
 あなたや連帯保証人が返還できなくなった場合、あなたに代わって返還する人です。原則として、父母を除く4親等以内の親族 (③ページ図を参照) のうちあなたや連帯保証人と別生計の人を選任してください。また、やむを得ない場合を除き、申込時に65歳未満となる人を選任してください。65歳以上になる人を保証人に選任する場合は、返還誓約書提出の際に、本人・連帯保証人が連署・押印した事情書の提出も必要となります。

※あなたが貸与終了時に満45歳を超えることとなる場合は、連帯保証人や保証人は貸与終了時に満60歳未満の人でなければいけません。

※あなたの配偶者及び未成年や学生の兄弟姉妹を連帯保証人・保証人に選任することはできません。

※4親等以内の親族でない人を連帯保証人・保証人にする場合は、返還総額の返還を確実に保証できる人を選任してください。この場合、返還誓約書提出の際に「返還保証書」及び証明書類の提出が必要となります。

※連帯保証人・保証人の選任について、わからないことがあれば学校に確認してください。

2. 本人以外の連絡先について

(1) その氏名

姓 名

(1) 漢字 (全角漢字)

カナ (全角カナ)

(2) その生年月日 (2) (和暦) 年 月 日生

(3) あなたとの続柄 (3)

(4) その住所 (4) (郵便番号) -

住所1 (自動入力)

住所2 (番地以降)

(5) その電話番号 (5) - -

その携帯電話の電話番号 (携帯) - -

C-保証制度で (2) を選択した人に表示されます。

機関保証に加入する人は、あなた (本人) 以外の連絡先を入力する必要があります。あなたに送付する重要な書類が届かない場合等に、ここに入力した連絡先に、あなたの住所・電話番号を照会することがあります。

注意! 「本人以外の連絡先」の入力をする前に、必ずその人の承諾を得てください。ここで入力した「本人以外の連絡先」は採用されると返還誓約書に印字されます。万一返還誓約書に自署してもらえないと不備となり奨学生の資格を失うことになります。

住所の郵便番号を事前に確認してください。郵便番号入力後、必ず住所検索ボタンを押してください。入力した郵便番号に該当する住所が「住所1」に表示されます。プルダウンからお住まいの住所を選択してください。「住所1」に表示された住所以降を「住所2」に入力してください。
※下記住所の入力例を参照してください。

参照柄



4親等以内とは、おじ・おば・いとこのことです。

注意!
連帯保証人・保証人の入力をする前に、必ずその方の承諾を得る必要があります。

連帯保証人や保証人の続柄が適切でないとされた場合は、エラー表示となり次の画面に進めません。その場合は一旦入力を中断し、学校に相談してください。

住所の入力例

(c) (郵便番号) 060 - 0042 ←押下

住所1 (自動入力) 北海道札幌市中央区大通西19丁目

住所2 (番地以降) 2-3 機構ハイツ505

注意! 番地以降を必ず入力してください。入力漏れがあると次の画面に進めません。

E-奨学金申込情報

1. あなたの希望する奨学金を1つ選択してください。

(a). 第一種奨学金又は第二種奨学金のどちらかを希望する人のみ記入してください。

- (1) 第一種奨学金のみ希望します。
- (2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合第二種奨学金を希望します。
- (3) 第二種奨学金のみ希望します。

(b). 併用貸与を希望する人のみ記入してください。

- (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。
- (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。
- (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。
- (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。

(c). 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。

- (8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。
- (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。
- (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
- (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。

上記 (8)、(9)、(10)、(11) を選択した人は奨学生番号を記入してください。

奨学生番号
(例: 6120699999)

「奨学金案内」19ページを参照のうえ、希望する1つを選んでください。

(c) 第一種・第二種どちらか一方の予約進学者が、定期採用でさらにもう一方を申込み、併用貸与を希望する場合は、以下のように入力してください。
○第一種を予約、第二種を定期採用で申し込む→ (10)
○第二種を予約、第一種を定期採用で申し込む→ (11)

予約進学者で奨学生番号が未決定の場合は入力不要です。決定している場合は、必ず入力してください。

(2) 学籍番号に英数字以外の文字が使われている場合、学校の指示に従ってください。

法科大学院の人は
(3) あなたは法科大学院の課程に在学していますね。○はい ○いいえと表示されます。

(3) (4) はプルダウンに表示された中から選択してください。

(5) 学校からの指示がない場合は未入力でもかまいません。

(6) 卒業年月にあわせた実質年次を入力してください。
(例) ○一貫制博士課程の3年次
→3年次
○2年次休学のため3年次へ進学できなかった場合→2年次
実質年次がわからない場合は学校に確認してください。
長期履修課程に在学する人は、学校の指示に従い入力してください。

(7) 通常は「昼」または「夜」を選択します。昼夜開講は該当者のみ選択してください。

(9) 通常は正規の修了予定年月を入力します。例えば新入生で2年課程の人は2014年3月になります。
なお、年度途中修了など特別な事情により、卒業月が3月以外になる研究科に在籍する場合は学校に確認してください。
過去休学をしたことがある人は、入学当初の修了予定年ではなく、現在の修了予定年を入力してください。

(10) 修業年限とはあなたの課程が何年課程のものかという意味です。
※現時点からあと何年かという意味ではありません。

F-あなたの在学情報

1. 大学院

(1) あなたの大学院名を確認してください。 (1) ××大学大学院

(2) あなたの学籍(学生証)番号を記入してください。 (2)

(3) あなたの在学している課程を選択してください。 (3)

(4) あなたの在学している研究科を選択してください。 (4)

(5) あなたの在学している研究科の専攻のコードを記入してください。

(注) 専攻のコードについては学校への確認の後記入してください。 (5)

(6) 年次を記入してください。 (6) 年次

(7) 昼夜課程を選択してください。 (7) 昼 夜 通信 昼夜開講

(8) あなたの入学年月を記入して下さい。

(注) 入学年月(特に編入学者)は必ず学校へ確認の後記入してください。
(8) 西暦(4桁) 年 月入学

(9) あなたの修了(見込)予定年月を記入してください。
(9) 西暦(4桁) 年 月修了(見込) 予定

(10) あなたの修業年限を記入してください。 (10) 年 カ月

2012年4月現在 1年次

修業年限	入学年	修了予定年
2年	2012/4	2014/3
3年	2012/4	2015/3
4年	2012/4	2016/3
5年	2012/4	2017/3

2012年4月現在 2年次

修業年限	入学年	修了予定年
2年	2011/4	2013/3
3年	2011/4	2014/3
4年	2011/4	2015/3
5年	2011/4	2016/3

2012年4月現在 3年次

修業年限	入学年	修了予定年
3年	2010/4	2013/3
4年	2010/4	2014/3
5年	2010/4	2015/3

2012年4月現在 4年次

修業年限	入学年	修了予定年
4年	2009/4	2013/3
5年	2009/4	2014/3

2012年4月現在 5年次

修業年限	入学年	修了予定年
5年	2008/4	2013/3

参考

G-奨学金貸与情報

1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

修士課程 5万円 8万8千円

博士課程 8万円 12万2千円

2. 第二種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

5万円 8万円 10万円 13万円 15万円

(2) あなたは何月分から貸与を希望しますか。 (2) 西暦(4桁) 年 月

3. 入学時特別増額貸与奨学金を希望する人のみ答えてください。

(1) あなたは入学時特別増額貸与奨学金を希望しますか。

1年次に入学した人および編入学の人のみ希望することができます。

はい いいえ

(2) 上記3.(1)ではいと答えた人は希望する額を選択してください。

10万円 20万円 30万円 40万円 50万円

4. 第二種奨学金または入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は答えてください。

(1) あなたの希望する利率の算定方法を選択してください。

利率固定方式 利率見直し方式

貸与月額は「奨学金案内」6ページを参照してください。

スカラネット入力時は、あなたの情報から判定された月額のみが表示されます。

法科大学院の人は

(2) 15万円の月額を選択した人のみ増額貸与を希望することができます。

あなたは増額貸与を希望しますか。

(2) 4万円 7万円 希望しない

(3) あなたは何月分から貸与を希望しますか。

と表示されます。

春の定期採用に申込する人は、2012年4月～9月のいずれかの月を選択してください。

3. で入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は、2012年4月を選択してください。

すでに、同一課程で入学時特別増額貸与奨学金を申込んだことがある場合は、「いいえ」を選んでください。編入学の人で入学時特別増額貸与奨学金を希望する場合は「いいえ」を選択して学校へ申し出てください。

返還時の金利の取扱いを選択する項目です。詳しくは「奨学金案内」22ページを参照してください。

「はい」と答えた人は必ず奨学生番号を入力してください。現在貸与中のものは、E-奨学金申込情報に入力してください。

法科大学院の人は

なお、修士・博士前期・専門職課程で第一種奨学金の貸与を受けたことがある人は、その奨学生番号を記入してください。

と表示されます。

5/8

H-あなたの履歴情報

1. あなたの最終学歴を記入してください。

1. 西暦(4桁) 年 月 卒業または退学

2. あなたはこれまで日本学生支援機構あるいは日本育英会の奨学金の貸与を受けたことがありますか。

2. はい いいえ

はいと答えた人はそのときの奨学生番号で採用年度の新しいものを記入してください。

なお、今回申込と同一課程で、第一種奨学金の貸与を受けたことがある人は、その奨学生番号を記入してください。

2. 奨学生番号

半角数字(例: 6080499999)

I-あなたの所得情報

1. あなたの収入について該当する項目を記入してください。

(1) 定職・アルバイトについて該当する項目を記入してください。

	勤務先	職業	収入金額 (年額・税込)		就労時間 本年見込
			前年	／ 本年見込	
定職	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	
アルバイト	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 時間 週当たり
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 時間
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 時間
父母等からの給付額			<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	
奨学金 (現在申込中のは除く)			<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	
その他の収入 (内容) (全角20文字以内)			<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	

I-あなたの所得情報については、「奨学金案内」14・15ページを参照のうえ入力してください。

(1) 基本的に前年の収入のみを入力してください。前年と本年見込の違う場合は本年見込で判定しますので、以下の点に注意して入力してください。

○前年>本年見込の場合は、前年と本年の両方入力してください。(本年見込の合計が「0」にならないようにしてください。)

○前年<本年見込の場合は、本年のみ入力してください。

※緊急・応急採用の申込みをする人は、前年欄に家計急変前の収入金額を、本年見込欄に家計急変後の収入金額(年収見込)を入力してください。

預貯金の取り崩し等が該当します。

(2) 定職又は週21時間以上のアルバイトに従事している人のみ記入してください。

(a) 退職・休職もしくはアルバイトの週当たり就労時間を21時間未満に減少する意思がありますか。 (a) ○あります ○ありません

(b) 「あります」と答えた人はその予定時期を記入してください。

(b) 西暦(4桁) 年 月 日

(3) 配偶者のいる人はその氏名及び年齢を記入してください。 姓 名

(3) 氏名

年齢 歳

(4) 配偶者の収入状況(定職収入のみ)を記入してください。

	勤務先	職業	収入金額 (年額・税込)	
			前年	／ 本年見込
給与所得の場合	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円
給与所得以外の場合	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円

給与所得の場合は、源泉徴収票の「支払金額」を入力してください。

給与所得以外の場合は、確定申告書の「所得金額」を入力してください。

2. あなたの特記情報について記入してください。

災害・震災に被災したことがある人で、被災した災害・震災が選択肢の中に含まれている場合は該当のものを選択してください。

▼

プルダウンから該当の災害を選択してください。

※東日本大震災の被災者は必ず選択してください。

Jーあなたの研究情報

1. あなたの研究題目（研究分野）を記入してください。（全角50字以内）（25×2）

Grid area for question 1

2. あなたの大学院進学目的と研究計画を記入してください。（全角400字以内）（25×16）

Grid area for question 2

3. あなたのこれまでの研究内容（提出論文・紀要・学術雑誌等の発表論文等）について記入してください。ただし、修士・博士前期課程1年および医・歯・獣医学課程1年は記入の必要がありません。（全角400字以内）（25×16）

Grid area for question 3

あなたの研究情報
本項目に半角英数字や半角カナ文字は使用できません。
数式・記号を含め全角文字で入力してください。

「研究題目」が未定の場合、手がけてみたいと考えている専門分野を大別し、その概要を入力してください。

専門職大学院（法科大学院を含む）の1年の人も入力不要です。

Kー家庭事情情報

1. 奨学金を希望するに至った家庭事情や、特に説明を要することを記入してください。

注) 緊急・応急採用の場合はできるだけ具体的に記入してください。（全角200字以内）（25×8）

Grid area for question 4

家庭事情情報は、全員入力する必要があります。特に、緊急・応急採用の申込みをする人は、家計急変の事情をできるだけ詳しく入力してください。

□ 奨学金振込口座情報

1. 奨学金を振り込む金融機関を選択してください。

(1) 右のボタンを押して金融機関名の読みの先頭1文字を選択してください。

(1)

(2) 金融機関名を選択してください。

(2)

(3) 右のボタンを押して支店名の読みの先頭1文字を選択してください。

(3)

(4) 支店名を選択してください。

(4)

2. 預金通帳等で確認後、口座番号を記入してください。

2. 普通（総合）口座

3. 口座名義人は△△ ○○ さんですね。

(口座名義人は本人に限ります)

3. ○はい ○いいえ

注意！奨学金振込口座情報の入力を読ると、奨学金の初回振込が大幅に遅れることがあります。

振込口座は、あなた（申込者本人）名義の普通預金口座のみです。

貯蓄預金口座を取り扱いません。

一定期間以上取引がない口座（休眠口座）は使用できません。

信託銀行・信用組合・農協・ゆうちょ銀行・外資系銀行・ネットバンク等（新生銀行・あおぞら銀行・セブン銀行等）等は取扱いしません。また、インターネット支店も不可です。

金融機関・支店統廃合等があり、お持ちの通帳・カードと今の口座番号等が違う場合もありますので、現在の金融機関名・支店名・口座番号をよく確認して入力してください。

B-誓約欄に入力した姓名（全角カタカナ）が表示されます（口座番号と照合して表示しているものではありません）。口座名義人（カタカナ）と不一致の場合は振込みができません。特にミドルネームがある場合は注意してください。

(注)

この情報欄は、申込画面においては7/8画面の「K-家庭事情情報」欄の後に表示されます。

緊急応急採用の申込者のみ記入してください。

□ 緊急・応急採用情報

1. 家計急変の事由を1つを選択してください。

(注) (5)～(8)、(10)～(12)までは各事由により著しく支出が増大または収入が減少したものの、

(15)は家計支持者からの補助を受けずに、本人収入のみで就学している場合のみ。

- (1) 家計支持者が会社の倒産等により解雇または早期退職したため。
- (2) 家計支持者が死亡したため。
- (3) 家計支持者が離別したため。
- (4) 家計支持者が破産したため。
- (5) 病気
- (6) 事故
- (7) 会社倒産
- (8) 経営不振
- (9) その他家計支持者の給与収入が激減したこと等によるため。
- (10) 火災
- (11) 風水害
- (12) 震災
- (13) 災害救助適用者であるため。
- (14) 学校廃止
- (15) 本人の収入減少及び支出増大に伴う経済困難

2. 家計急変の事由が生じた年月を記入してください。

2. 西暦（4桁）年月

3. 緊急採用（第一種）奨学金を申込みのみ、希望する貸与始期を記入してください。

3. 西暦（4桁）年月

4. 家計基準該当事由を選択してください。

- (1) 今後1年間の所得金額が収入基準額以下になるため。
- (2) 年間の支出金額が著しく増大又は収入金額が著しく減少したため。
(年間の支出金額が著しく増加した人はA欄を記入してください。)
- (3) その他上記以外の家計急変により就学継続が困難のため。

A. これまでに特別に支出した額、またこれから特別に支出が見込まれる額を記入してください。(家屋・医療費等)

	事由	金額
	(例：台風による家屋の損壊)	
これまでに	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円
	全角10文字以内	
これから	<input type="text"/>	<input type="text"/> 万円

貸与始期は、家計急変事由が生じた年月（申込みから12カ月以内。入学した月を限度として遡及可）以降を選択してください。

上記1.（家計急変の事由）で(1)～(4)、(7)～(9)を選択した人は(1)を選択してください。(5)～(6)、(10)～(12)を選択した人は(2)を選択し、A欄を記入してください。(13)～(14)を選択した人は(3)を選択しA欄を記入してください。

病気・事故・火災・風水害・震災により生命・損害保険等を受けてもなお、支出が著しく増大した等を事由とする場合、学校の指示に従い認定を受け、支出事由を明らかにしたうえで、これまでの費用とこれからの見込支出額を入力してください。

記入内容を点検しましょう！

- 氏名は本名で記入しましたか？（通称名は認められません）
- 住所・電話番号をもれなく正確に記入しましたか？
- 収入金額について、該当する欄に該当する数字を記入できていますか？
- 口座番号を正確に記入しましたか？